

## 「思考力・表現力・判断力・体力・免疫力を高めるために」

令和6年度がスタートしました。昨年度はコロナ5類移行の結果、体育館に全校児童が集まったり、異学年交流を積極的に行ったり、より広い人間関係の中で学び合うことができました。

さて、今年度は、対面による学び合いをもっと効果的に行い、直接人と触れ合うことで多くのことを学んでいきます。ICTを活用しながら、児童一人一人がしっかりと自分の考えをもち、児童全員の思考力・表現力・判断力を育成することを最優先の目標とし、西伊興小学校の教育を進めてまいります。

様々な取り組みの中で、次の3点について、挨拶として述べさせていただきます。

### ① 主体的で対話的な深い学び合い

人間がAIに勝てる能力として、人が抱く気持ちや考えを分析したり、未知のことに対して新たなものを創造したりする力があります。これからの世界を生き抜いていくためには、人間として秀でた力を育成していかなければなりません。その力の一つが思考力や表現力となります。

授業では、児童全員が話し合い活動に参画し、児童が主役になります。そして、より広い視野で物事を捉えるために、主体的で対話的な深い学び合いを継続していきます。

### ② 相手の気持ちを考えた言動

学校生活において「対話」を重視してまいります。まずは相手の話をきちんと聞くことが大切です。当然ですが、相手のことを考えていない「いじめ」は許されません。義務教育の間に、自分の考えを言葉で表したり行動で示したりする力を身に付け、家庭や地域と連携しながら相手の気持ちを想像した言動ができる人間づくりを行っていきます。

### ③ 病気に負けない元気な身体づくり

令和5年度は校内研究を体育科学習で行い、土曜授業では体育科学習を公開し、保護者や地域の方々と運動の重要性を共通理解しながら児童の体力向上を目指してきました。今年度は東京都の「体育健康教育推進校」の推薦を受けて、縄跳びやオリパラ教育のほかにも、保健指導や食育指導も大きな取り組みとして、児童の健康を向上させてまいります。そもそも人間は元気でなければ学ぶことすらできません。チーム西伊興で児童の体力・免疫力を向上させます。